

これまでの大学分科会・大学教育部会の審議を踏まえ、今後の検討に資するため、専門性が必要と考えられる以下のような職務等に従事する大学職員の現状について、以下のような項目の調査を行ってはどうか。

①職務等

○専門性が必要で、一定の業務経験、特定の資格・スキル等を有する者を配置することとしている職務等の有無及び具体的内容

○今後の大学運営において、特に必要性が高いと考えている職務等とその理由

【調査対象とする職務等の例】

（管理運営系）

- ・ 経営企画 ・ IRer ・ 法務 ・ 財務会計
- ・ 広報 ・ 人材採用、育成、研修 ・ 情報、ICT 等

（教育研究活動支援系）

- ・ URA ・ FDer ・ 図書館司書 ・ アドミッション・オフィサー
- ・ カリキュラム・コーディネーター ・ 産学連携コーディネーター・国際交流コーディネーター 等

（学生支援系）

- ・ キャリアコンサルタント ・ スクール・カウンセラー ・ 留学生相談員 ・ 学生相談員 等

②資格

○①の職務等に従事する大学職員の採用・登用の要件としている資格等

（例：専門的職員に必須な要件として、

- ・ 学位（学士+実務経験5年以上） ・ 語学力 を満たすことが必要。

同時に、職務に応じて求められる●●●●といった資格を必須とすべき 等）

○当該大学職員が現に有する資格等

○また、①の職務等に対応して、重要になると考えられる資格等

③処遇等

○①の職務等に現在従事している大学職員の数

○①の職務等に従事する大学職員の処遇の状況

【調査項目として考えられる例】

（キャリアパスおよび計画的な育成方針の明示）

- ・ 採用時の所属（教員・事務職員）に応じたキャリアパスの明示状況
- ・ 専門的職員に対する計画的な育成方針の策定状況

（専門性の評価と給与・昇進等への反映の仕組み）

- ・ 専門性を評価するための仕組みの整備状況
- ・ 専門的職員に対する特別の手当、俸給表の整備、年俸制等の整備の状況

（職務に応じた柔軟な勤務を可能とする雇用の仕組み）

- ・ 職務に応じて裁量的な勤務を可能とするための具体的な取組の状況 等

④個別事例の収集

○各大学における特徴的な取組についての事例 等

○諸外国における専門的職員の状況についての事例 等